

## 令和7年度 授業改善推進プラン

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・表現するために必要な語句を身に付け、身に付けた語句を使って適切に文章表現をする資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力全般的には、東京都及び全国（公立）平均よりも高い。</li> <li>・学年全体的に見ると、選択式の問題よりも記述式の問題の正答率が低い。</li> <li>・知識及び技能では、情報の扱い方や言語文化に関するものが低い傾向にある。</li> <li>・思考力、判断力、表現力では、話すこと・聞くこと、読むことがやや低い傾向にある。</li> <li>・話し合いの記録の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する問題では、困難さが大きく見られた。話し合いながら必要に応じてメモを取るなどの技能や、相手の話の中心を捉えることが苦手な児童が多いことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもち互いに伝え合う場を設定する。</li> <li>・短い文でも良いので、文を書くことに慣れ親しんでいく。</li> <li>・読書活動を取り入れて、語彙や言葉の使い方や意味を正しく理解してつかうことができるようにする。</li> <li>・話し合いの時のメモをどのようにとれば効果的なのかを実践的に行って習得する。</li> </ul>
社会	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・学習問題の解決のために必要な情報や資料を読み取る資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に資料の読み取りにおいて、児童の能力に差がある。そのため、情報を読み取り、集める力を伸ばしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT等を積極的に活用して、視覚的に資料を提示し、学習課題を捉えやすくする。</li> <li>・興味関心が高い単元で、少人数のグループを構成し、一人一人が主体的に参加できるようにして、資料から事実を記述させる。</li> </ul>
算数	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・立式の根拠について筋道を立てて考え、説明する資質・能力、作図する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査では、東京都及び全国平均よりポイント数は上回っている。継続して実施されている、算数少人数習熟度別指導の成果であるといえる。</li> <li>・思考・判断・表現に関わる問題で、問題の意味を理解し、そこから必要な情報を処理し、書き表すことができない。</li> <li>・立式の場面において、文章問題を正確に読み取ることができないことがある。</li> <li>・学習到達度の二極化が目立つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つまづきを明確にし、習熟度に応じてドリル等を活用し、既習事項の定着度を確認、不十分な場合は、個別指導を行う。</li> <li>・低学年では、問題場面を動作化や操作活動を取り入れて問題を理解させる。中学年以降は、問題場面と図や表、式を関連付けて考えさせ説明する場面を充実させる。</li> <li>・ICT 機器やデジタル教科書を活用し、視覚的に理解しやすいようにする。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<p>・自然に親しみ、自然の事象・現象についての問題を科学的に解決する資質・能力</p>	<p>・実験結果をもとに考察したり、グラフなどで分かりやすく記録したりすることが、課題となっている。また、時間が経つと忘れてしまう傾向もある。</p>	<p>・児童にとって身近な課題となるよう、自然事象との出会いの場面を工夫し、生活経験に結び付けて考えることができるようにする。</p> <p>・児童の興味・関心を引き出していけるよう、自分の考えを相手に伝え合う場面を多く設けるとともに、気付きや自分の考えをノートやワークシートに、図や言葉を用いて表現する活動を設けていく。</p> <p>・記録をしっかりとるなど、学習内容を定着させる。</p> <p>・ICT 機器を活用し、視覚的に分かりやすい学習をしたり、自分の考えを共有したりする。</p> <p>・サイエンスアシスタントを活用し、指導法を共有し、指導する。</p>
生活科	<p>・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現しようとする資質・能力</p>	<p>・関心、意欲、態度は高いが主体的に学びを深めようとする意欲がやや低い傾向がある。</p> <p>・観察シートなどに気付きや発見を記入することが少なく、個人差が見られる。</p>	<p>・実際に見たり触ったり出会ったりするような場を工夫することで、児童が「こうしたい。」という思いや願いを膨らませ、主体的に活動できるようにする。</p> <p>・異学年との交流や認め合いの場、ワークシートなどを用意し、自分や友達の活動のよさに目を向けさせたり、伝え合ったりする機会を設けることで、新たな気付きや発見が生まれるようにする。</p>
音楽	<p>・表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力</p>	<p>・表現したい意欲と表現する技能が合っていないため、技能面を高めていく必要がある。</p> <p>・発言する児童が固定化されやすいため、ペア学習やワークシートなど個々の考えを出しやすい環境にする必要がある。</p>	<p>・表現及び鑑賞を通して思考力、判断力、表現力、知識、技能を相互に関わらせながら一体的に育成する。</p> <p>・自分の思いや意図を表現に生かせるように発問や場の設定、さらには、児童が安心して表現できる環境、自己のふりかえり、聴き合う場などの場の設定の充実を図る。</p>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現活動の中で気付き、創意工夫し、深めていった学習について自分なりの考えを持ち、次の学習・生活に活かそうという考えにつながらない。そのため、タブレット端末を活用し、自分の作品を記録することで、学びの積み重ねを可視化していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に沿った様々な材料や用具等による造形活動の充実を図る。</li> <li>・タブレット端末を活用し、振り返りや鑑賞の時間で、自分や友達の考え・作品のよさを共有する時間を多く設けるなど、造形的な見方や考え方を広げ、深める等の言語活動の充実を図る。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の中での自分の役割を見付け、できることから取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫や調理の経験や技術に個人差がある。</li> <li>・家庭の中で経験を活かせることは理解していても、実際に実現することが難しい児童も多い。</li> <li>・調理に関してはより身近な活動であるため、自主的に取り組める児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活を振り返らせ、裁縫や調理など、身の回りで取り組みそうなことを考えられるようにする。</li> <li>・家庭内の仕事を話題に挙げ、作品やカードなどで発表する機会を設定する。</li> <li>・裁縫やミシンの学習では、授業のはじめに使い方を確認する時間を設ける。教科書の「いつも確かめよう」を活用させたりして、技術を定着させる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで運動に親しむ資質・能力</li> <li>・自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断する資質・能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テスト結果から、全体的に握力、長座体前屈、反復横跳び、ソフトボール投げが低い傾向が見られる。</li> <li>・運動が苦手だと感じる児童も、意欲的に運動できる場の設定や用具の工夫をする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業で、固定遊具を使った運動、柔軟性を高める運動、投能力を伸ばすための運動などを意図的に取り入れる。各種の基本的な動きや技能を身に付けられるように、各運動(運動遊び)の動きや技のポイントを明確にした場を設定する。</li> <li>・課題を解決するために、自分で練習の場を選んだり、友達と協働したりして解決することができるような学習活動を設定する。</li> </ul>
国際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語に親しみ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その授業で学習しているキーセンテンスを使用して、決められた会話をすることはできるが、自分がすでに知っている言葉や表現も活用して、自分のことをより相手に伝えようと工夫する姿勢はまだ十分に身に付いていない。</li> <li>・英文やアルファベットを読んだり、書いたりすることにはまだ課題が残る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌など、英語の音の流れを楽しめるような活動で外国語学習への意欲を高め、積極的に英語を聞き、繰り返し言うことで、すすんで英語に慣れ親しもうとする態度を育成する。</li> <li>・キーセンテンスを使う場面や目的が明らかなアクティビティを、児童の実態や興味・関心に合わせて設定することで、実践的なやり取りを通して英語表現を身に付けられるようにする。</li> <li>・文字を見せながら読み聞かせたり、文を読ませたりする指導を丁寧に行い、書くことへの指導につなげる。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会を力強く生きる児童を目指し、向上心と柔軟性をもち、共生しようとする資質・能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年が上がるにつれ、教材文から課題を見出すことはできるようになってくるが、その課題を実生活と結びつけて考えたり、自分の問題として深めたりすることは難しい。</li> <li>教材の内容や登場人物の気持ちは理解できるものの、それを自分の生活と結び付けて考える力が弱く、友達と考えを比較したり、多面的に物事を捉えたりする力も十分に育っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートやノートを活用し、考えたことや感じたことを詳しく書かせる。話し合い活動では、時間を十分に確保し、お互いの考えを共有し、広げられるようにする。</li> <li>児童の気づきや思いをしっかりと認める声掛けを続ける。</li> <li>友だちと自分との違いについて気づいたり、実生活と照らして考えたりできるようにする。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>実社会や実生活の中から問題を発見し、疑問をもち、その課題を解決する資質・能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問や気づきから児童が課題を立て解決することが難しい場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識をもって課題解決できるよう、ワークシート等を活用し、学習の見通しをもって取り組めるようにする。</li> <li>学び方や表現の仕方について、事例を挙げ、児童が選択できるようにもする。</li> <li>タブレット端末のプレゼンテーションソフトを利用して、まとめる力や表現する力が付くように指導する。</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>実社会や実生活の中から問題を発見し、疑問をもち、その課題を解決する資質・能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑問や気づきから児童が課題を立て解決することが難しい場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識をもって課題解決できるよう、ワークシート等を活用し、学習の見通しをもって取り組めるようにする。</li> <li>学び方や表現の仕方について、事例を挙げ、児童が選択できるようにしたり、個人活動・グループ活動など多様な活動方法も選択できたりするようにする。</li> <li>タブレット端末のプレゼンテーションソフトを利用して、まとめる力や表現する力が付くように指導する。</li> <li>外部講師を招いて、深く学習をすすめていけるようにする。</li> </ul>